

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ひさかた和紙の継承・発展を軸とした地域内外の交流促進事業
事業主体 (連絡先)	ひさかた和紙保存会 下久堅公民館(0265-29-8001)
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,393,970 円

事業内容

和紙活動へ地域内外の参加者を増やし、交流を図るとともに、ひさかた和紙の魅力を感じてもらった。

- ・和紙原料栽培・原料加工・紙漉き体験を実施したのべ合計で730名が参加した(原料栽培 226名、原料加工 197名、体験 243名、その他 64名)
- ・美濃・手すき和紙体験講座へ2名参加
7月3日～7月7日 美濃和紙の里会館(岐阜県美濃市)
- ・和紙専用乾燥機を購入し日帰り体験を実施した



【渋谷区との交流事業】

【目標・ねらい】

- ①地域内外交流人口の増加
- ②ひさかた和紙のブランド化(ひさかた和紙の製造技術の保存・継承)
- ③継続的な発展の実現

事業効果

「紙漉き」という一部分だけではなく、原料の栽培から加工まで広く深く和紙を知ってもらい、裾野を広げることができた。

- ①地域内交流の円滑化と地域外団体との交流増
原料栽培・加工の募集範囲・実施時間を増やし新しい参加者を獲得することができた。飯田市内公民館・渋谷区(親子14組29名)など、紙漉き体験を日帰りで広く提供できた
- ②新規技能者二名の発掘
国内手すき和紙製造の先端地岐阜県美濃市にて、5日間の実習に2名が参加し、紙漉きを基本から学び、大判の和紙を漉く技能者を新たに増やすことができた。
- ③自治組織との連携により地域地盤が強化された
下久堅まちづくり委員会との連携により、活動のサポーターとして、多くの地域内住民に活動へ参加して頂くことができた。

※自己評価【A】

【理由】

目標としたのべ体験者数500名を越える700名を得た。体験者へのアンケートでも高評価を得、地域の活動に対する意欲の向上にも繋がり、継続的な発展が見込まれる。

今後の取り組み

- ・紙漉きの日帰り体験を実現できる設備を整えることができたので、体験内容の更なる満足度向上のため、説明資料(工房内器具説明、和紙製作工程説明、和紙の歴史説明)を作成し、体験者が「語れる体験」を目指す。
- ・本年度体験参加者に対して、直接の連絡や、WEB、新聞等の広報を活用し次年度の体験への参加を促す。また、体験参加者の評価をもとに更なる満足度向上を目指す。
- ・「紙漉き」に限らず、1年を通して原料栽培から原料加工、さらに和紙活用まで、活動の裾野の更なる拡大に向け、気軽に継続して参加できる体制を整える。
- ・ひさかた和紙保存会を核とし、地域内団体により「ひさかた和紙の里プロジェクト」を立ち上げ、和紙